



県電設協

フルハーネス特別教育

装着徹底し命を守って

熊本県電設業協会（岩崎裕会長）主催で、墜落制止用器具（フルハーネス型）の正しい使用方法を学ぶ講習会が24日、熊本市流通情報会館であった。労働安全衛生規則に基づき特別教育。電気工事に従事する現場作業員

ら17人が受講した。

2018年から年1回開催しており、今回は、

作業の知識からフルハーネスの使用法までの学科や実技全てを学ぶ6時間コースと、胴ベルトを用いて6カ月以上従事した経験を有する者などで

学科の一部免除を認めた5時間コースの教育を実施した。

講師を務めたエレテックの永野広朗取締役専務は「面倒とは思わず装着することを徹底して、また器具の点検もしっかり行って命を守ってほしい」と話し、器具の構造や使い方などを指導した。